

金型設計・製造/金属プレス/プラスチック成形—最先端が一堂に

INTERMOLD 2024

17日—19日
インテックス大阪

変革に対応するものづくり

—求められる技術のさらに先へ
イノベーションを発信し続ける—

金型展2024

金属プレス加工技術展 2024

17日から19日までの3日間、大阪・咲洲のインテックス大阪で、金型や金属プレス加工に関する三つの展示会「INTERMOLD 2024 (第35回金型加工技術展)」 「金型展2024」 「金属プレス加工技術展2024」が開催される。INTERMOLDと金型展は日本金型工業会とテレビ大阪が、金属プレス加工技術展は日本金属プレス工業協会が主催し、インターモールド振興会が運営する。来場は事前登録制(無料)。来場者証を持参しない場合は入場料3000円が必要。開催時間は10時から17時まで。



【右】INTERMOLDには金型加工に使われる工作機械や切削工具などが集結(2023年=東京開催)
【中】金属プレス加工技術展にはプレス加工機メーカーやプレス加工事業者などが出展する(2023年=東京開催)
【左】トレンドの6テーマで行われる特別企画フェアにも注目だ(「航空機部品加工技術フェア」=2023年)



INTERMOLDには金型加工に使われる工作機械や切削工具のメーカーが、金型展にはそれらを使って金型を作る金型メーカーが、金属プレス加工技術展にはプレス加工機メーカーやプレス加工事業者などが出展する。関連する3展示会が同時開催されることで、出展者と来場者のビジネスチャンス拡大を促進する。会期中は連日、多彩なセミナーやワークショップなどが開催される。17日11時から「自動車産業を取り巻く環境変化と金型を軸とした競争力について」と題して、トヨタ自動車モノづくり開発センター素材材技術部の門野英彦主査による特別講演が開かれる。

6テーマ特別企画フェア
また会場内で実施される六つの特別企画フェアにも注目だ。金型業界においてプラスチックは、主要原料かつ主な加工製品のひとつである。「次世代プラスチック加工フェア」では、生分解性プラスチックやバイオプラスチックなどの次世代プラスチックやその加工技術など、環境負荷低減に寄与する新素材や技術を紹介する。電気自動車(EV)など自動車の電動化の加速により、部品加工の統合や標準化、軽量化などが急速に進められ、自動車産業は変革期を迎えている。「自動車部品製造技術フェア」では、大手メーカーから1次・2次サプライヤー、中小企業まで、世界をリードする日本の自動車部品製造技術が披露される。「航空機部品加工技術フェア」には、新素材やその加工技術、宇宙産業・防衛産業・エネルギー産業などへ参入する中小企業を中心に集まる。競争力を持つ特殊な技術や高付加価値技術を持つ中小企業と、大手メーカーやサプライヤーとのビジネスマッチングを目指す。そのほか、積層造形(アディティブ・マニファクチャリング、AM)技術が紹介される「3Dプリンティング&AM技術フェア」や、デジタル変革(DX)実現に貢献するシステムやサービスなどが集まる「製造業DXフェア」、鍛造加工機や関連機器・システムの最新情報が発信される「鍛造加工技術フェア」も開催される。

形などの最新ソリューションが一堂に会し、来場者は4万人を見込む。今回の開催テーマは「変革に対応するものづくり—求められる技術のさらに先へイノベーションを発信し続ける—」。変革期を迎えているモノづくり業界における金型メーカー・金型ユーザーの対応状況や、工作機械や工具、ソフトウェアの進化などを、展示やセミナーを通じて発信する。

◇
396社・団体が集結
国内外の工作機械メーカーや工具メーカー、金型メーカー、プレス加工メーカーなど396社・団体が699小間の規模で出展する。金型設計・製造や金属プレス、プラスチック成

日刊工業新聞社『プレス技術』編集長
DX/自動化
人手不足が深刻化している中で、金属プレス加工技術展においてもDXを含む各種自動化ソリューションに注目している。またEV化により、駆動モーターや電池、電装品まわり、車体軽量化などで新たな需要が見込めるため、これらに応える企業の提案に期待している。主要ユーザーである自動車業界では、軽量化のためのマルチマテリアル化や部品の一体化などへの対応を迫られている。さらに図面どおりの加工ができることのみならず積極的なVA・VE(価値分析・価値工学)提案なども必要となってきた。日本はプレス加工において過渡期にあると思う。プレス品の8割近くは自動車部品だと言われており、その自動車の転換期に当たることから各社とも模索が続いている。また人手不足も進み、これまでベテラン技術者の雇用延長などで対応してきたが、いよいよそれでは対応できなくなりつつある。日本のモノづくり力を維持するため、産業界や社会の変化に対応する製品・技術に期待したい。

日刊工業新聞社『型技術』編集長
大型ダイカスト金型
今回のINTERMOLD、金型展では、大物部品を一体成形するギガキャストへの関心が高まる中で、大型ダイカスト金型の関連技術の展示に注目している。また人手不足が深刻化する中で、金型製作におけるさまざまな自動化も重要なテーマである。多品種少量となる金型製作では自動化実現のために越えるべき壁が多い。機械加工だけでなくその前・後工程を支援する自動化技術の提案に期待している。自動車産業は金型の主要ユーザーであるが、ガソリンエンジン車からEVへ変わると使用部品の量も種類も大きく変わる。ただ、EVシフトが加速したとしても駆動系やバッテリー以外の部品類の成形には常に金型が必要となるため、金型産業が自動車づくりの基盤を支える重要分野であることは変わらないだろう。『型技術』では2021年から金型や成形加工などの素材技術分野における各社のデジタル技術活用の取り組みを取材してきた。デジタル関連のテーマについては今後もさらに注力して誌面で紹介していきたい。

INTERMOLD 2024

オークマブース
インテックス大阪
6号館 6B-251

オークマだからできる自律的な高精度とCO2排出量削減の両立

Green-Smart Machine
Powered by Intelligent Technology

OPEN POSSIBILITIES
オークマブースにてSNSフォローキャンペーンを実施します!
公式Instagram、Facebookフォローにてノベルティをプレゼントいたします。
ぜひご来場下さい。

金型業界の人手不足、環境負荷低減などの課題解決に向け、「Green-Smart Machine」による解決策をご提案します。

出展機種

- 立形マシニングセンター+移動式協働ロボット**
MB-46VEII + OMR20
簡単操作の移動式協働ロボットによる金型製造の自動化
■クラス最高レベルの精度安定性と加工性能
■必要な時に手軽に加工機を自動化
■初心者でも簡単にロボット操作できるガイダンス表示
- 複合加工機+ビルトインロボット**
MULTIS B250II ARMROID
機内ロボットで金型の加工を省スペースで自動化
■複合加工機を省スペースで自動化し、生産リードタイムを短縮
■単体機としても自動化セルとしても使用可能
■初心者でも簡単にロボット操作できるガイダンス表示
- 5軸制御立形マシニングセンター**
MU-6300V-L
高精度5軸制御マシニングセンターで加工効率の向上
■5軸加工機に旋削仕様を付加し、ワンチャッキング高精度加工
■サーモフレンドリーコンセプトによる高い寸法安定性
■テーブルサイズ:φ630mm

金型向け工具と切削技術の最新動向

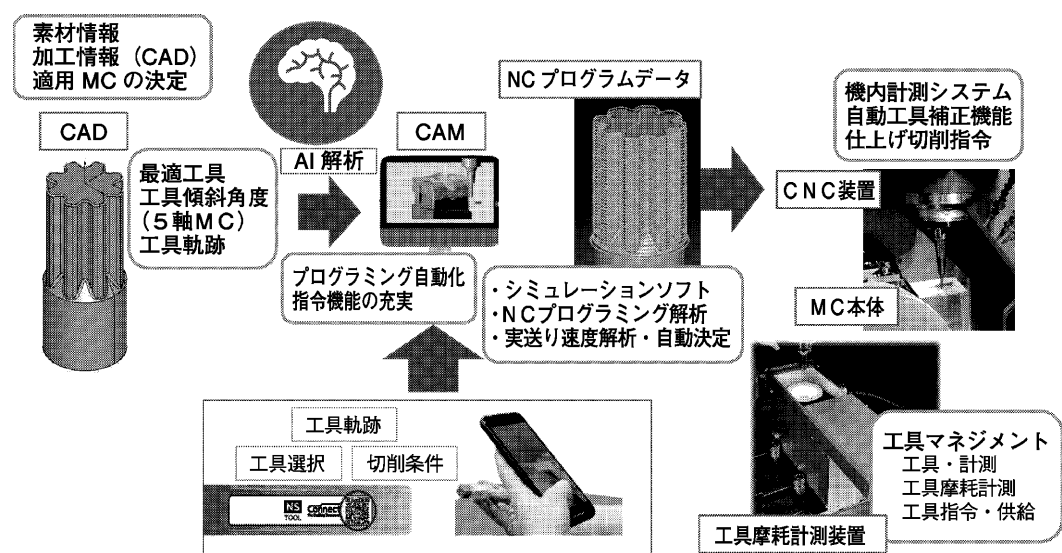


図1 情報化における型部品生産システム例

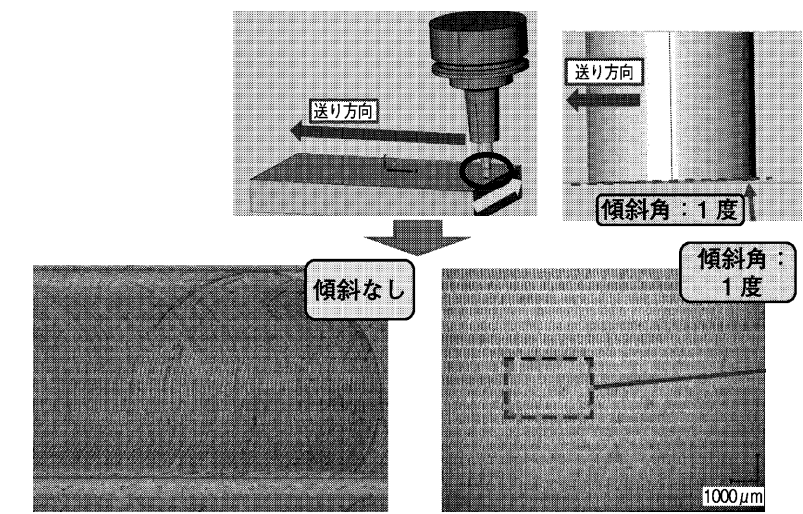


図2 切削面の高品位化を実現するスクエアエンドミル切削(日進工具)

型部品の切削に多く用いられているボールエンドミルは、切れ刃が球面形状で多様な形状の加工に対応できる。半面、加工形状に応じて切れ刃の切削ポイントが異なり、実切削速度の変化で切削面精度にバラつきが発生する。実切削速度が異なると切りくず形状や工具切れ刃に及ぼす熱影響は変化するため、工具摩耗の予測が難しい。

とりわけ平面形状の切削は、中心刃(非切削部)のひっつき痕を含む低切削面精度や急速な工具摩耗の発生が懸念される。このような現象を回避するには、中心刃をなくして微小な切れ刃形状(切りくず排出性を考慮した切れ刃色)にする

型部品生産における自動化の取り組み

型生産の自動化・無人化における新たな生産プロセス例を図1に示す。コンピュータ利用製造(CAM)の多機能化と処理能力、ネットワーク機能の有効活用である。とりわけCAMは型生産

型切削向け工具と切削技術

工業製品の多様化時代を迎え、金型生産は短納期かつコストダウンの要求が高まっている。一方で、生産現場における高齢化、人材不足を背景に、来型技術は熟練技能に依存していたが、マシンングセンター(MC)導入後、デジタルデータによる型生産の取り組みが移行し、今やデジタル傾向は強まり新たな段階を迎えている。ここでは型技術について情報化など最新動向を紹介する。

工業製品の多様化時代を迎え、金型生産は短納期かつコストダウンの要求が高まっている。一方で、生産現場における高齢化、人材不足を背景に、来型技術は熟練技能に依存していたが、マシンングセンター(MC)導入後、デジタルデータによる型生産の取り組みが移行し、今やデジタル傾向は強まり新たな段階を迎えている。ここでは型技術について情報化など最新動向を紹介する。

松岡技術研究所
代表取締役
松岡 甫篁

5軸MC適用の優位性

数年来、5軸制御MCの切削精度は飛躍的に高まり、数分以内の高精度加工が可能になっている。従来5軸MCは3軸MCに比べて切削時間が短縮できることが知られており、今後は高精度化の実現で、生産設備の中心になることが予測できる。

INTERMOLD
金型展
金属プレス加工技術展

日本の型生産技術 熟練の技→データ・ネット時代

加工工程	使用工具	切削条件	残し代	加工時間
3軸 荒加工	DRB230 R1.5×25	n:20,000, vf:1,800, ap:0.3, ae:0.6	0.2	1時間30分
3軸 中仕上げ①	DRB230 R1×25	n:8,000, vf:600, ap:0.08, ae:0.15	0.01	1時間20分
3軸 中仕上げ②	DRB230 R1×25	n:8,000, vf:600, pf:0.08	0.04	1時間35分
3軸 仕上げ	DRB230 R1×25	n:8,000, vf:600, pf:0.08	0	1時間35分
合計				6時間0分

図3 3軸制御および5軸制御 MC における切削の比較例(日進工具)

新たな型技術への取り組み

従来世界のトップレベルを維持してきた国内の型生産技術は、高い熟練技能と

型部品の自動化は、切削精度向上と切削時間短縮、多面的切削が可能ならぬ。加えて無人搬送車(AGV)搭載の移動型ロボット援用による加工対象物(ワーク)と工具の着脱、搬送で生産現場の自動化、無人化は実現できる。今後は最新の工具と切削条件など、最新情報によるNCプログラミング、生産状況の見える化で迅速な対応などが求められる。そのため、情報システム関連の人材獲得および人材教育は不可欠であろう。

3軸MCとは切削方式が全く異なる認識で、5軸MCは工具と切削条件による切削精度が異なる。今後、情報化や高精度化に対応する5軸MCは、型生産の中核的な生産設備になる期待が高まっている。

図3は放電用銅電極の切削事例であり、3軸MCに比べて大幅な切削時間短縮効果を示している。今後、情報化や高精度化に対応する5軸MCは、型生産の中核的な生産設備になる期待が高まっている。

技術に支えられてきた終極の一方、自動化への移行は今や型生産にも及びつつあり、情報化の取り組みと相まって、新たな展開が始まっている。工具と切削技術は、データベース中心の生産システムへの移行、ネットワークによる情報伝達など、コンピュータ依存のシステムが構築されている。

NS TOOL

無限コーティングプレミアムPlus
高硬度鋼加工用

4枚刃スクエアエンドミル
MHDSH445

6枚刃スクエアエンドミル
MHDSH645

2024年3月
規格追加

「つくる」の先をつくる

日進工具株式会社
www.ns-tool.com

~70HRCの高硬度材まで対応
刃長は最大で外径の5倍

INTERMOLD 2024 小間番号 6B-401

テクニカル・ワークショップのご案内 4月19日(金) 11時から 第1会場にて

「加工能率向上による高付加価値加工を実現するための取り組み」
日進工具株式会社 営業部営業支援グループ 営業技術課 主任 福嶋 裕也
※事前登録制 同業他社様からの申し込みはお断りいたします

MOLDINO
The Edge To Innovation

Free-neck

干渉を気にせず突き出し量が調整できる
フリーネックタイプを24アイテム追加

多様な深さにすぐ使えて工具集約ができる!

- ・ 把持量が調整できるので、様々な深さに対応できます
- ・ 首部に段差がないので、壁面への干渉リスクが軽減されます

EPDBPE-ATH
エポックペンシルディーブボールエポリューション

INTERMOLD 2024
インテックス大阪 6B-312

重量物をスッカリ収納

金型の保管
管理にも最適

1段あたり
最大8トン
超重量物収納ロッカー

北川精機
INTERMOLD 2024
小間番号 6A-432
https://kitagawaseiki.co.jp

RIBAN QUALITY

求めた金型部品がここにある。

小間番号 6A-101-16

RIBAN
株式会社 リバン・イシカワ
富山県南砺市国広62
TEL:0763-62-1783

深彫り加工でもビビらない!

超硬 最短!!

FMH強力型 レッドスクリーアーバ スリムライン モノカーブ

最適なホルダをご提案!!

スリムラインモノカーブ
5軸加工に最適!!
2次曲線 Max. 465mm
500種類のバリエーション
突出し最短 φ4~20

FMH強力型
切削能率 2倍!!
Max. 410mm
φ40~100

レッドスクリーアーバ
立壁加工から形状加工まで!!
超硬一体型
各社の交換式工具に対応 φ16~40

株式会社 MST コーポレーション www.mst-corp.co.jp
INTERMOLD プース:6B-411 詳細はこちら

精度だけじゃない! スマート YASDA

高精度加工に加え、先進的なスマート機能による金型加工の
時間短縮、省人化、工程集約を会場で「操作実演」致します!!

操作性がスマート 自動化がスマート デザインもスマート

加工がスマート

INTERMOLD 2024 安田工業株式会社 www.yasda.co.jp
〒719-0303 岡山県浅口市郡里庄町浜中 1160
TEL.0865-64-2511(代)
営業所: 関東・名古屋・大阪・長野・仙台

4/17(水)-19(金) 小間番号 6B-421

【出展・実演機】 YBM950V Ver.V

金型加工にも高圧クーラントが威力を発揮

金型には金型冷却用の小径深穴が数多く加工されています。
数の多い小径深穴加工を高圧クーラント技術で効率化できます。

超高压 クーラントユニット
HIPRECO HIGH PRESSURE COOLANT

INTERMOLD 2024 小間番号 6B-101-7

生産性向上
高圧クーラント技術の切りくず分断で、切削加工の自動化をはばむ切りくずのワーク・機械・工具への巻きつきを解消。切削加工の自動化に貢献。工具刃先の冷却効果で切削スピードアップ、刃物の長寿命化を実現。

FL-HIPRECO
パワーゲータ下の低床スペースに 7MPa~14MPa

使用環境によって選べる3タイプ
10MPa~30MPa 1インチ S-HIPRECO

株式会社 トクピ製作所 本社・工場 〒581-0854 大阪府八尾市大竹3丁目167
TEL.072-941-2288 FAX.072-941-5181

ごあいさつ 日本金属プレス工業協会 会長 高木 龍一

INTERMOLD 2024、金型展2024、金型プレス加工技術展2024開催にあたりまして、ごあいさつさせていただきます。

2年ぶりに大阪で過去最大の49社の出展を持つ、金型プレス加工技術展2024を開催できることをうれしく思います。開催に向けて尽力できないままに、皆さまに深く感謝申し上げます。

本展示会のテーマは「持続可能な製造業 匠の技と革新技術の調和」です。金型技術や金型プレス加工における蓄積された技術と最新の技術、サービスを紹介する場としております。

業界の未来に向けた展望や共同の課題について解決策を見つけた機会を提供することで、より強固な産業ネットワーク、サプライチェーン構築に貢献したいと考えております。

今回も当会の展示会推進委員会において幾度となく協議を重ね、魅力あるプログラムを企画しました。4月18日に開催するパネルディスカッションでは、「持続可能な製造業 匠の技と革新技術の調和」と題して、プレス業界に精通しているパネリストの皆さまから、未来に向けたメッセージを発信させていただきます。その後開催される「プレスサロン」では、出展者、賛助会員ほか「来場の皆さまと一緒にプレス加工を要とした全方向の話題で交流いただき、革新的な技術や製品の紹介だけでなく、業界の発展を促進する場として有意義な時間を過ごしていただけることを願っております。

また10月には、同じ大阪の地で世界6カ国以上の子プレス加工工業団体が集い、「第21回金型プレス国際会議」を開催いたします。専門分野の代表者が一堂に会し知識や経験を共有し、持続可能な開発目標の達成や気候変動対策など世界の重要課題にも目を向け、業界全体の発展に向けて大阪の地から世界にメッセージを発信する計画です。

最後になりますが、皆さまのご支援と協力があってこそ、本展示会は成り立っております。今後とも業界の発展と繁栄に向けてともに歩んでいけることを心より願っております。

大阪から世界にメッセージ発信

ごあいさつ 日本金型工業会 会長 小出 悟

INTERMOLD 2024、金型展2024、金型プレス加工技術展2024開催にあたりまして、ごあいさつさせていただきます。

2年ぶりに大阪で過去最大の49社の出展を持つ、金型プレス加工技術展2024を開催できることをうれしく思います。開催に向けて尽力できないままに、皆さまに深く感謝申し上げます。

本展示会のテーマは「持続可能な製造業 匠の技と革新技術の調和」です。金型技術や金型プレス加工における蓄積された技術と最新の技術、サービスを紹介する場としております。

業界の未来に向けた展望や共同の課題について解決策を見つけた機会を提供することで、より強固な産業ネットワーク、サプライチェーン構築に貢献したいと考えております。

今回も当会の展示会推進委員会において幾度となく協議を重ね、魅力あるプログラムを企画しました。4月18日に開催するパネルディスカッションでは、「持続可能な製造業 匠の技と革新技術の調和」と題して、プレス業界に精通しているパネリストの皆さまから、未来に向けたメッセージを発信させていただきます。その後開催される「プレスサロン」では、出展者、賛助会員ほか「来場の皆さまと一緒にプレス加工を要とした全方向の話題で交流いただき、革新的な技術や製品の紹介だけでなく、業界の発展を促進する場として有意義な時間を過ごしていただけることを願っております。

また10月には、同じ大阪の地で世界6カ国以上の子プレス加工工業団体が集い、「第21回金型プレス国際会議」を開催いたします。専門分野の代表者が一堂に会し知識や経験を共有し、持続可能な開発目標の達成や気候変動対策など世界の重要課題にも目を向け、業界全体の発展に向けて大阪の地から世界にメッセージを発信する計画です。

最後になりますが、皆さまのご支援と協力があってこそ、本展示会は成り立っております。今後とも業界の発展と繁栄に向けてともに歩んでいけることを心より願っております。

DX・脱炭素 - 実現へ前進

未来につなぐ デジタルソリューション

研削、プレス加工のノウハウをデジタル化し、作業者の高度な加工を支援する
アマダグループの最新加工技術をご提案いたします。

研削
デジタルプロファイル研削盤
DPG 150

研削
高精度成型研削盤
MEISTER G3 UP

プレスシステム
プレス加工システム
SDEW 8010i III GORIKI
LCC 03 KR5

インターモールド2024に出展します。 インテックス大阪 小間番号: 6B-451

株式会社アマダマシナリー
株式会社アマダプレスシステム

小ロット品から量産品まで処理品に合わせて最適な炉をご提案

小型真空熱処理炉 処理量: 50kg/30kg
NVF-50P/30P

大型真空熱処理炉 処理量: 1000kg/クロス
NVF-1000PC

受託加工、承ります。

熱処理の見積り・工場見学 相談 ご連絡おまちしております

CVDコーティング (TIC)(TIN/TiCN/TiC)
すべり性 耐焼付性 耐摩耗性 耐腐食性

真空熱処理
焼入れ、焼戻し 焼鈍、ハイス焼入れ 焼入れ、焼戻し 焼鈍、ハイス焼入れ

大型品・長尺物 量産品大量処理
貸切りテスト処理 物温制御処理

中日本炉工業株式会社 0120-38-5141
本社・工場 〒490-1203 愛知県あま市木折八割町8 TEL (052) 444-5141 FAX (052) 444-1917
熱処理技術部 TEL (052) 444-7561 FAX (052) 444-4683
https://www.nakanihon-ro.co.jp info@nakanihon-ro.co.jp

INTERMOLD 2024
日時: 2024年4月17日(水)~19日(金)
会場: インテックス大阪
小間番号: 6B-212

設計から製造まで
データの一気に通貫で
ものづくりを変える



INTERMOLD 2024 (第35回金型加工技術展) / 金型展2024
小間番号:6B-402

製品・設備設計

3次元設計支援システム
TopSolid'Design



https://topsolid.kodamacorp.co.jp/products/design/

金型設計

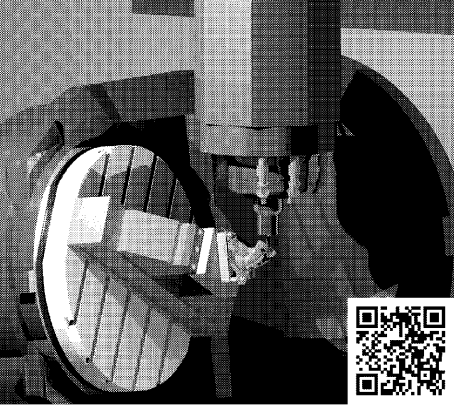
プラスチック・プレス・ダイカスト
金型設計支援システム
TopSolid'Mold
TopSolid'Progress



https://topsolid.kodamacorp.co.jp/products/mold/

部品加工

3次元ソリッド
CAD/CAM システム
TopSolid'Cam



https://topsolid.kodamacorp.co.jp/products/cam/

コダマコーポレーション株式会社
お問合せ sales@kodamacorp.co.jp
URL https://www.kodamacorp.co.jp
トップソリッド 検索

TopSolidは、TOPSOLID社のフランスおよびその他の国における商標または登録商標です。
TOPSOLIDは、コダマコーポレーション株式会社の日本における登録商標です。

両面インサートで
極限の高送り加工が可能に
NEW EXSKS-05type
EXSKS-07type
EXSKS-09type



DIJET 株式会社
Tel. (06) 6791-6781 Fax. (06) 6793-1221 https://www.dijet.co.jp/
INTERMOLD 2024 小間番号 6B-214

HPでは「加工事例・お悩み改善」を公開中!
QRコード

INTERMOLD
金型展
金属プレス加工技術展

順不同 有力企業の製品・技術

オークマ

オークマは金型業界でも課題となつて
いる人手不足や環境負荷低減などの社会
課題に対し、高精度な5軸加工機・複合
加工機による工程集約と独自の自動化シ
ステム、省人化ソリューションを提案す
る。
加工機を手軽に自動化する移動式協働
ロボットとMCを組み合わせた「MBI
46VEII+OMR20」、単体の複合加工
機としても自動化セルとしても使用でき
る「MULTUS B2250IIARMR
OJD」、5軸加工機に旋削機能を付加
し多彩な工程集約が可能な「MU-63
OOVIL」を展示し、実演する。

MOLDINO

MOLDINOは超硬エンドミル、刃
先交換式工具、超硬ドリルなどの切削工
具とワークを展示する。
2月に発売した新商品の超硬エンドミ
ル「PDPBPER-AIH」のフリーネ
ックタイプは、首部に段差がないため壁
面への干渉リスクを低減し、工具が加工
部に届かない時に突き出し量を調整でき
る。深彫り加工の工具集約を求める顧客
に最適だ。
同社は金型製造の全体工程を考慮した
上で課題のポイントを押さえ、新製品や
最新のアプリケーションを交えて「金型
加工のトータルソリューション」を提案
する。

日進工具

日進工具は70HRC(ロックウェル硬
さ)までの高硬度鋼に対応する「無限コ
ーティングプレミアムPlusシリ
ーズ」の「スクエアエンドミルMHDSH
445・MHDSH645」を紹介す
る。3月に規格拡大し、サイズ間の補完
と刃長を最大で外径の5倍まで展開し
た。
ほかにもボールエンドミルより高効率
に加工できるレンズ形エンドミル「ML
FH3030」など、切削加工において付
加価値を生む製品をワークサンプルとど
もに展示する。テクニカルワークショップ
は19日11時より第1会場にて(事前登
録制)。

アマダグループ

アマダグループのプレスシステムは「未
来にかなうデジタルソリューション」。
デジタルプロファイル研削盤「DPG-
150」は自動計測・補正加工機能を搭
載し、高精度加工を実現。高精度成形研
削盤「MEISTERG3 UP」は
ロボットと複数ワークの連続加工で自動
化に対応する。
プレス加工システムとして、サーボプ
レス「SDEW800III」GOR
「IK」を初披露のレベーター「DAI
「LCC03KR5」をセットで提案。
非対称で複雑形状のEV用部品加工に貢
献する。

三和商工

三和商工は超高精度レーザー溶接機
「WELD PRO SW-L220」
を新発売する。220Wの高出力を標準
採用し、最大溶接可能線径が0.8mm以
上まで拡大。形状修正や肉盛り溶接時間を
短縮できる。さらに溶接棒最小線径0.
05mmを実現し、薄膜の微細傷補修や薄
板製品加工、要求精度の高い頂点やパー
ティングラインの補修などができるUD
モードを搭載した。
また操作ディスプレイのコントローラ
ーをユニット化することで取り外しが可
能になり、電源や冷却チャラーのレイアウ
トの自由度が格段に向上した。

大昭和精機

大昭和精機の「BIGスマートダンパ
ー」は深穴ボアリングや突き出しが長い
加工による面精度の問題を解消する。内
部に特殊なダイナミックダンパーを設
け、びびりを瞬時に減衰。高い防振効果
で従来の5~6倍も加工能力が向上す
る。
高精度仕上げボアリング「EWNヘッ
ド」、高剛性の荒用ボアリング「SWヘ
ッド」があり、いずれも防振ダンパー内
蔵のヘッド一体型タイプ。このほかフラ
イスカッター専用フェースミル「FMP
「FMH型」、旋盤用内径ボアリングパ
ータイプもびびりを抑制し、安定加工を
実現する。

MSTコーポレーション

ギガキャストは単体構造を一体成型す
る技術。これにより金型・部品の大型化
が進み、深彫り加工が必要な場面が増
え、突き出しの長いツールホルダーの需
要が高まっている。
MSTコーポレーションはこの需要に
対応し、大径の超硬合金を内蔵したオイ
ルホール付きカッター用アーバー「FM
H強力型」、交換式工具用の「レッドス
クリューアーバー」、独自の2次曲線形状
の焼きばめホルダー「スリムライン」モ
ノカブ」では全長400mmを超える
タイプをラインアップ。荒加工や仕上げ
加工の突き出しが長い加工でも高効率に
切削できる。

トクビ製作所

トクビ製作所の超高压クランプシス
テム「ハイプレコ」は、金型製作におい
ても驚異的な効果を発揮する。金型には
熱を逃がすための小径深穴加工が多数必
要なため、製作の難易度が高い。同製品
は穴明け用ドリルの刃先から高圧のク
ラント液を噴出させることで、切りくず
を細かく分散し、加工中の穴から切りく
ずを効率的に排出する。
さらに刃先を効果的に冷却することで
で、工具寿命の延長や品質の向上、加工
効率の改善などが期待される。また高圧
クランプの使用により、深穴加工に必
要な段階的な作業を省略できる。

超高精度レーザー溶接機 WELD PRO SW-L220
新発売 new product インターモールド大阪にて 展示実演します
220Wに大幅パワーアップ! 最大溶接線径φ0.8mm!
"UDモード"により 最小溶接線径φ0.05mmが可能に!
最小線径φ0.05mm! "UDモード"
薄膜の微細傷の補修や薄板部品加工、要求精度の高い頂点やパーティングラインの補修などを可能にします。
コントローラーがユニット化!
操作ディスプレイがユニットとして取り出し可能になり、電源や冷却チャラーのレイアウトの自由度が格段に向上しました。

防振効果で「びびり」をカット。重工業や大型加工物のモノづくりをサポート。
SD smart damper
BIG DAISHOWA
BIG DAISHOWA Japan 株式会社
販売元

INTERMOLD 2024 インターモールド大阪
会期:2024年4月17日(水)~19日(金)
会場:インテックス大阪 ブースNo.6B-216
溶接事業部 始動
Welding Department
愛知県刈谷市にて、金型溶接事業部を開始しました。
WELD PRO SW-V02をメインに金型補修を行います。お気軽にお問合せください。
三和商工株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-21-4 E-mail: contact@sanwashoko.co.jp
TEL: 03-3376-3464 FAX: 03-3374-0346 URL: https://www.sanwashoko.co.jp

BIG DAISHOWA Japan 株式会社
本社: 大阪府大阪市西成区3-3-39 TEL: 072-986-2312 FAX: 072-980-2231
大阪本社: 大阪府大阪市東淀川区3-6-20 TEL: 072-986-5800 FAX: 072-986-6900
支店: 東北・北関東・東京・神奈川・長野・静岡・名古屋・北陸・大阪・岡山・広島・九州
物流センター
海外拠点/タイオフィス(タイランド) 大昭和精機貿易(上海)有限公司 (上海、広東、瀋陽、成都、武漢、天津)
BIG DAISHOWA (ドイツ、アメリカ) BIG KAISER (スイス)
2024年4月17日-19日
INTERMOLD 2024
インテックス大阪
6号館: 6B-302

SNK

生産性を追求した 省スペース門型機

門型5面マシニングセンタ

RB-M III series

RB-3M III / 4M III / 5M III / 6M III



各機能の能力アップによる生産性向上

早送り速度アップ X軸→1.2倍 Y軸→1.3倍 Z軸→2.5倍
主軸モータ出力・トルクアップ (最大出力)37/30 kW (最大トルク)752/637 N・m

機械設置面積の省スペース化

従来よりワンサイズ大きい機械の設置が可能

現場目線で使い易いを実感

デュアルディスプレイを標準搭載
基本動作をワンタッチ操作で入力 **かんたん操作 / かんたんプログラム**

インターモールド 2024 -大阪-
INTERMOLD 2024 2024年4月17日(水)~19日(金) 10:00~17:00
会場: インテックス大阪 6号館Bゾーン **6B-322**

ものづくりの課題アプローチへSNKでは、自動化・省人化ソリューションによる金型づくりをご提案いたします。

◇事前の来場者登録をお済ませの上、アクセス願います。(事前来場登録用サイト <http://intermold.jp/visitor/>)
◇詳細・ご不明な点はお近くの営業所へお問い合わせ下さい。

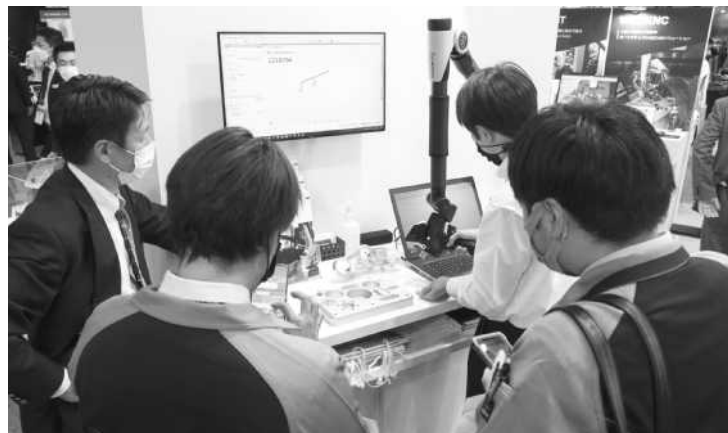
SNK 新日本工機株式会社
SHIN NIPPON KOKI CO., LTD.

本社(大阪) TEL. 072-355-1310 FAX. 072-273-2810
東京支社 TEL. 03-6670-6615 FAX. 03-3636-7711
名古屋支店 TEL. 052-209-9099 FAX. 052-209-5583
広島出張所 TEL. 082-221-8556 FAX. 082-227-5009
<https://www.snkc.co.jp>

金型展

リバン・イシカワ

リバン・イシカワは金型部品加工の専門メーカー。1970年の創業以来「リバン品質」を旗印に高精度・高品質な加工にこだわってきた。自動車の内燃機関向けなどを中心に、複雑な3次元形状部品から精密プレートまで幅広く対応する。5軸MCをはじめ最新鋭の工作機械を導入し、難易度の高い加工に強みを持つ。



金型・プレス加工に関連する最新ソリューションが提供される (2023年=東京開催)

ダイジエツト工業

ダイジエツト工業の高送りカッター「EXXKSシリーズ」は、両面使用可能な6コーナー仕様の経済的なインサートで、極限の高送り加工を可能とする。小径多刃の05タイプ、切れ味と強度を高立した07タイプ、高切り込みかつ高送り加工が可能な09タイプの3種類をラインアップ。

安田工業

安田工業は金型加工から部品加工まで、荒加工から仕上げ加工まで幅広く使える汎用3軸V型MCとして評価の高いフラッグシップ機「VBM 950V Ver. V」を出品する。

中日本炉工業

中日本炉工業はさまざまな工業炉をオーダーメイドで設計・製作。アフターメンテナンスまで一貫して自社で対応する。ロングセラーの小型真空熱処理炉「NVF-30LP」をはじめ、小型から大型の熱処理炉や長尺材に対応した立型真空熱処理炉など豊富にラインアップする。

北川精機

北川精機の「ソリッドストックカー」は、設置場所や収納物のサイズ、重量に合わせた高さや幅、段数、耐荷重など、自在なカスタマイズが可能で、鋼材などの材料や製法を効率よく収納、管理することができる。

新日本工機

新日本工機は金型加工向けMCのフラッグシップモデル「DCシリーズ」を「DCIIシリーズ」としてリニューアルした。

コダマコーポレーション

コダマコーポレーションは「設計から製造までデータの一気通貫でのつくりを委ねる」をテーマに、統合されたCAD/MOLD/CAMによる手戻りのないモノづくりを提案する。

リニューアルオープンしました! より探しやすく、見やすく、使いやすくなりました

注目の製品・技術・サービスと出会える。業界トレンドも分かるWebサイト。

新しいビジネスの場

Biz-Nova

ビズノヴァ

掲載しているジャンル

- 電機・電子・情報・通信
- 産業機械・機構部品
- 環境・エネルギー・防災
- 建設・建築・土木・道路・住宅・住宅設備
- 食品・医薬

- 工作機械・ロボット・加工技術
- 素材・化学
- 自動車・航空機・宇宙・鉄道
- 物流・搬送
- イベント・ビジネス全般



詳細はこちら

※一部記事除く